統合小学校建設だより　第6号

郷土と共に自己を磨き　未来に向けて夢をかなえる人づくり

令和5年12月26日
川上村教育委員会

○「学校行事検討部会」からのご報告

１０月１８日（水）に部会を開催し、前年度「教育部会」の未検討部分について、建設委員会に報告しました。

◇は意見･要望等

（１）統合後の遠足目的地等について

現在、一小と二小共に、５年・６年時に、「千曲川源流」と「金峰山」の合同登山を隔年で実施しています。さらに、一小は、飯盛山や横尾山を目的地とした遠足を実施しています。統合後の遠足的行事は、上地区・下地区双方の児童にとって、地域を身近に感じる目的地を設定することが望ましいことから**上地区・下地区双方の児童にとって地域を感じ思い出に残る目的地の候補を検討しました。**

◇川上村全体を見渡した時　横尾山、馬越峠、高登谷、甲武信ヶ岳、三国峠、大深山遺跡、フレンドパークなど
◇川上村近隣を見渡した時　飯盛山、滝沢牧場、ヤツレン･牛乳工場、国立天文台、美しの森、リエックス･シャトレーゼ工場など
◇候補に挙げたいが危険　　男山、天狗山（山道が瓦礫・毒蛇の生息）など

（２）併設型を最大限に生かした小・中合同開催の行事・イベント案について

統合後の小・中学生の日常的な人間関係づくりに向けた活動のアイディアを検討しました。

◇小学校金管クラブ・中学校吹奏楽部合同ミニコンサート　◇なかよし給食　◇中学生による「読み聞かせ」週間
◇なかよし週間　◇図工・美術展　◇小・中子ども会議（児童会＋生徒会）　◇アイマスク体験（福祉体験）
◇なかよしゲーム大会　◇体力向上運動プログラム　◇小・中縦割り清掃など

（３）源流教育について

現在、川上中も含め、一小・二小共に「源流教育」を実施しています。一小は、「総合的な学習の時間」や「教科」で、学校が外部講師を要請し実施しています。二小は、学校と地域が協力して半日開催の「ふるさと源流学習」を実施しています。**統合後の「源流教育」の実施の形はどうあったらよいかを検討しました。**

◇統合小学校でも、二小のような「源流学習」を企画して欲しい。
◇子どものリクエストをもとに講座を企画したらどうか。

（４）田畑による勤労生産学習について

一小は、川上村唯一の水田で稲を育てたり、学校畑でレタスを栽培したりしています。**統合後の勤労生産学習について検討しました。**

◇水田を造るなら稲づくりの環境を整備したくさん収穫させてあげたい。
◇畑にした場合は、各学年でいろいろな作物作りに挑戦できる。
◇一小のレタス栽培はJAと提携しているので継続も考えられる。

（５）飼育体験について

二小では川上犬を飼育しています。**統合後の飼育体験の在り方について検討しました。**

◇飼い方などで動物虐待などを指摘する声もあるので、動物を飼育するなら外部の目も考えて慎重に行った方がよい。
◇子どもの安全を考え、できれば飼育は控えた方がよいのではないか。

（６）スポーツ活動について

一小は校内スケート記録会、二小は校内スケート大会、両校共にスキー教室を実施しています。スケートについては、近年の温暖化により校庭リンクの活用ができにくくなっているため、子どもたちは、松原湖スケートセンター・帝産スケートセンターにシ

ーズン中に１回ほど練習に行き記録会や大会に臨んでいます。また、体力向上に向けた教育活動としては、一小・二小共に現在の学校周辺をコースにしたマラソン大会を実施しています。**今後のスケート学習の在り方や、立地条件を生かしたマラソン大会について検討しました。**

◈統合小学校の建設予定地では校庭リンクはできない。
◈松原湖や帝産での練習回数も限られるので、スキー教室と同じレベルでスケート教室として扱うのがよいのではないか。
◈スケートが苦手な子もいるので、フィギアスケートを可にし、滑走用の補助用具の使用も可の方向で考えて欲しい。
◈マラソン大会は、体力向上に向けた一つの行事として継続して欲しい。

（７）その他学校行事に係わること

現在、一小・二小共に９月に実施している運動会の時期は、近年の猛暑で熱中症の心配もあるのではないかという問題提起がありました。

◈県内で多くの学校が実施している６月は、川上村では、農作物の出荷と重なり参加が難しい。９月の実施であれば、さらに２週間後か、あるいは１０月の実施にして欲しい。

令和３年度から５年度までの「教育部会」、これを引継ぎ５年度から発足した「学校行事検討部会」で話し合われた内容は学校に情報提供し、統合小学校の教育課程編成に役立てていただきます。なお、教育課程を編成する主体は学校なので、検討内容の採択は学校判断になりますのでご理解・ご協力をお願いします。

○「造成工事」の開始について

［業者選定］

・１２月１日に入札が終わり、造成工事については、次のとおりに業者が選定されました。

工事名	請負業者名	契約時期
「令和５年度　統合小学校開発工事」	丸共建設株式会社	１２月６日に仮契約し、１２月１４日に本契約しました。
「令和５年度　統合小学校外周道路工事」	株式会社堀内組	１２月５日に契約しました。
「令和５年度　中学校排水処理施設工事」	株式会社新津組	１２月６日に契約しました。

［造成工事における留意点］

・３つの工事の中で、発生土・必要土を融通し合うことで、工事費の削減を図ります。
・３つの工事の現場代理者と定期的な協議の場を設けます。
・３社が協力しながら、３つの工事を行っていきます。

［工事期の予定］

・１２月から工事準備に入ります。
・１月から土木工事を開始し、重機の搬入等が始まります。

施設紹介　「図書館」　～本に親しみ、学びを高め、自己を磨く学習空間！～

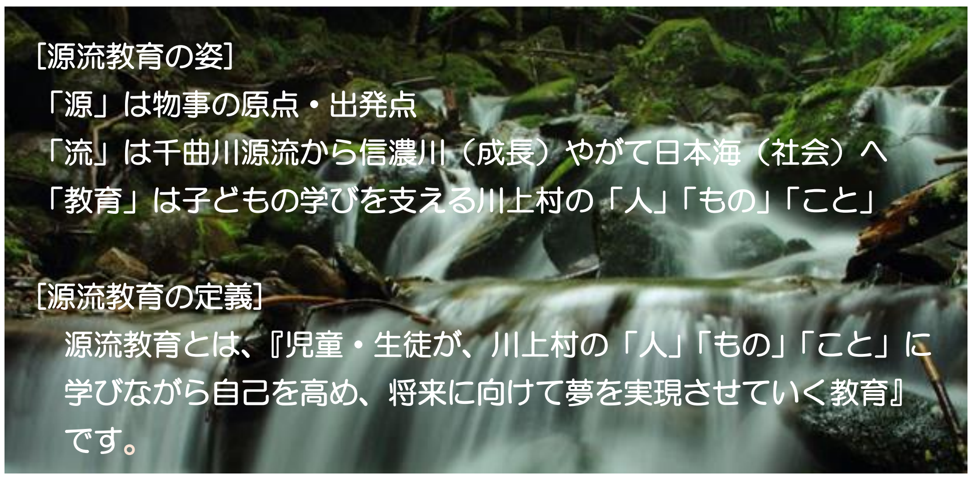
中庭と一体感ある森の図書館のイメージ図

「図書館」は、統合小学校の目玉の一つです。昨年度より、川上三校は共通に読書活動を教育活動の重点に据え、日常的に読書に取り組んでいます。そのため、子どもたちにとって親しみやすく、日々活動しやすいように、図書館の位置はメインの廊下となる「ふれあい広場」に出入り口を設置し、図書館内・図書館から続く中庭も開放的な造りとなっています。また、館内には、『読み聞かせコーナー』が設置され、学級の時間や図書館の時間には有効に活用されます。

○「源流教育」について

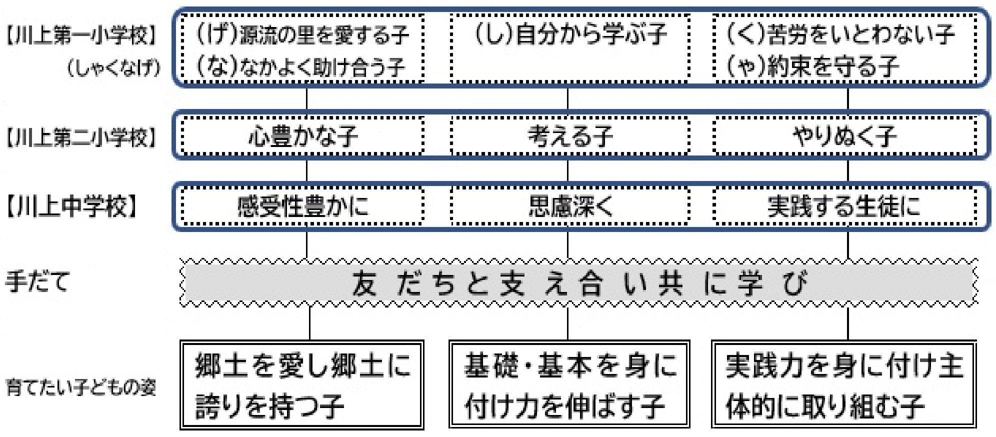
川上第一小学校、川上第二小学校、川上中学校で実践している、様々な教育活動の基礎となっている「源流教育」についてご紹介いたします。三校それぞれの学校目標で育てたい子どもの姿【図２】は、「源流教育」で育てたい子どもの姿【図１】につながっています。学校は、「源流教育の姿」で示された「流」の中で、郷土に目を向けさせながら子どもたちの学力を伸ばし、実践力や主体性を身に付け、将来に向けて自分の夢を実現させていくための教育課程の工夫・改善を図っています。その中で、教科学習での外部講師の招聘や地域素材の教材化、源流教室などは、地域の人、もの、ことに触れるための手段として大きな役割を担っています。

統合小学校においても、これまで成果が得られた源流教育をもとにした教育実践を継続し、さらに教育内容を高めていくことを目標にしていきます。



【図１】

[三校学校目標と育てたい子どもの姿]



【図２】